

(別添7)

事業所名 グループホーム 川崎

2 目標達成計画

作成日: 令和2年1月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	面会に来られる利用者様と来ていただけない利用者様との差があり、来ていただけない利用者様とご家族様との関係作りに積極的に取り組む必要がある。	面会頻度が増すことにより利用者様にはより明るく安心してすごされるよう援助したい。	・各利用者様への面会の頻度を面会簿で確認し面会の少ないご家族様へは近況を連絡し面会のお誘いをする。 ・ご家族様も一緒に参加できる行事を多くし利用者様と過せる時間を作る(外出行事等への参加のお誘いを行う)	6ヶ月
2	31・33	重度化による介助量の増加から統一されたケア技術の提供がなされにくく、また重度化した利用者様とそうでない利用者様との関わる時間の偏りが生じている。	・日々変化する利用者様の身体状況に対し職員間でケア方法について情報を共有し、得た技術を提供することで利用者様、ご家族様が安心して過ごせるようにする。 ・2ユニットの特性を活かし、重度、軽度での住み分けを再度見直します。	・利用者様の身体状況の重度化、および終末期について、ご家族様へ主治医より説明と、主治医、ご家族様、介護医療スタッフと今後の関わりについてカンファレンスを行う。 ・介護、医療スタッフとケア方法について確認し合い統一したケアの提供を行う。 ・ケアの提供状況についてご家族様への伝達を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。